



介護福祉士

羅針盤

らしんばん

No.55 (No.13)

平成 24 年 2 月発行
社団法人岡山県介護福祉士会
〒700-0813
岡山市北区石関町 2-1
岡山県総合福祉会館 5 階
TEL : 086-222-3125
印刷編集協力 : 友野印刷



当ホームでご夫婦一緒に生活をされるようになって
もうすぐ一年。

いつも妻を気遣い、優しい言葉をかけているご主人。

「笑った顔を撮ってもらおうなあ」

撮影の時にも、微笑みながらそっと妻の手を握りしめるご主人の手。

いつも夫婦の絆を感じさせて頂き、私たちも元気を頂いています。

これからもお二人一緒にたくさんの笑顔を見せて下さいね。

(医) 紀典会 グループホーム アネシス 大森 玉恵

岩手県・陸前高田市における災害ボランティア活動報告

～高齢者等の仮設住宅から見たもの～

8 月 15 日から 8 月 21 日まで陸前高田市の地域サロンの運営補助に関わり、仮設住宅での生活の場面で支援をさせて頂きました。(日本介護福祉士実施、災害ボランティア登録 450 名、参加 116 名 内 岡山県介護福祉士会より 6 名参加)

□参加目的

- ・現在の集団生活（仮設住宅）での実情を把握して、どれほど暮らしに苦痛を強いられているか現状を知ること。
- ・この状況が特に高齢者等の状態悪化に連鎖しないよう暮らしの質を介護福祉士としてとらえ、当面の困窮する諸障害を補充すること。
- ・国民の一人として国家的甚大な被害を理解し、風評ではなく現実を直視すること。



□活動のまとめ

- ・仮設住宅の生活ルールを守りつつ、生活機能の低下・予防を視点に入れての介護支援。被災された方の気持ちを考えて真摯に対応する為、言葉を選ぶなどの配慮が必要だった。
- ・今回出会った多くの高齢の方は、苦難をばねに毎日を生き切る強い精神面を持っておられた。介護支援者としては真摯な対応が求められた。

□相談者の声

- ・「体の弱い私が生き残り、夫だけが逝ってしまった。私が夫を死なせたのではないか」と自責の念にさいなまれ苦しんで明日を考えることができない妻。
- ・家族よりも消防団員としての使命を優先させた夫。その横にいるはずの妻子はもういない。「あの時一緒に逃げていれば…」と今握る手は空をつかみ、あの温かみは戻らない。
- ・何もかもなくし一人で生きることの辛さを抱え、「それでも生きねばなんねえ！負けるもんか」と自分に言い聞かせている方。

この他にも様々な方々のお話を聞かせていただいた。苦しみを言葉にしてもらったことで少しでも前を向いてもらうことができたのではないと思う。



震災は甚大な被害を各地にもたらしました。今もなお多くの方々が仮設住宅での生活を余儀なくされ、被災地では被災者の暮らしの再建に向けた懸命な支援活動が続いています。

災害は遠くの出来事ではなく、いつ起こるかわからない災害。

その時『今、何が出来るのか』皆さんと一緒に日頃から防災について考えていきましょう。

(報告：草加 昭子)

全国大会 in あおもり

～11月10日・11日青森県青森市にて本会より神寶会長、田淵副会長、草加事務局長が参加しました～

今回の全国大会は東日本大震災を受け、開催が危ぶまれましたが、東北を日本を元気づけるため開催を決定したそうです。

テーマは「介護福祉士をいかす・のばす・はぐくむ!!」そしてサブテーマは～介護と医療の連携を目指した人材育成～です。

今年度日本介護福祉士会を中心に議論されている認定介護福祉士（仮称）又、「介護職員等にたんの吸引等」の法律が決定され、介護福祉士としての職務が幅広くなってきており、私たち自身が専門性を高め資質の向上を図る必要があるという挨拶にて開会されました。

大会初日、厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室長佐々木裕介氏より「介護人材確保対策の動向について」と題して基調講演を頂いたほか、独立行政法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所宇宙航行システム研究系教授川口淳一郎氏より「はやぶさの7年間の歩み」と題した記念講演を頂きました。また日本介護福祉士会常任理事 舟田伸司より「東日本大震災に対する取り組み」について報告がなされました。



【大会 2 日目は 3 分科会】

- ・施設における介護と医療の連携を目指した人材育成について
- ・在宅ケアにおける介護と医療の連携を目指した人材育成について
- ・新人が思う介護福祉士像～介護と医療の現状を踏まえた意見

上記テーマで実施し発表、質疑応答で参加者共に活発な議論が行われました。

介護職の「医療行為モデル事業」の中の「たんの吸引等」を実施する介護福祉士に求められる役割や、関連する知識、技術修得の必要性、利用者に対する責任の持ち方等についての報告がありました。

さらに、「介護福祉士をいかす・のばす・はぐくむ!!」をテーマとして、シンポジウムが行われました。

今回約 800 名の参加者が集まり、大盛況のうち閉会されました。『開催して良かった、元気で頑張ろう』と地元の方々の声を聞かせてもらいました。

全国大会が終わるのを待っていたかのように青森は初雪となり八甲田山もくっきりと雪化粧となりました。



(報告：草加 昭子)

中国・四国ブロック研修会に参加しました

～8月28日 島根県松江市（くにびきメッセ）にて開催～

今回、中・四国大会において青年介護福祉士の呼び『2011年島根アピール』を依頼され、参加しました。

中・四国大会だけに、大勢の参加者があり研究発表の内容や講義もすぐに現場に活かせる素敵な話ばかりでした。

そんな中での 3 分程ではありますがスピーチをすることで、とてもドキドキしました。が岡山県代表として無事に大役を果たし、岡山県の頑張りや良い所もしっかり PR してきました。

いつもは県内の研修に参加するばかりでしたが、県外

に出てみて、岡山以外の方ともたくさん知り合う事ができた事。他県の話聞いて、岡山の話聞いてもらえた事、いつもは見られない景色が見えた事。

行ってみて、思った以上に素敵なモノに巡り合えた研修となりました。

今回、このような機会を頂き本当にありがとうございました。

(報告：児嶋 舞)

医療シリーズ

研修会

知っておこう!

岡山県看護協会看護研修センターにて全4回開催しました。
今後注目されるテーマだった為これから関わる介護福祉士の方の参加が多く、各研修とも大変熱心に受講されました。

医療シリーズ③

平成23年9月30日（金）岡山大学病院 看護部 皮膚・排泄ケア認定看護師 青井美由紀氏をお迎えして「胃ろうによる経管栄養」をテーマとし61名の方が参加しました。

医療シリーズも第3回目となりました。今回は大きく分けて「胃ろうによる経管栄養」「皮膚トラブル」という内容でした。



私の施設でも鼻腔栄養との割合でも徐々に逆転してきています。

胃ろう（PEG）造設の経緯、PEGの長所短所等をわかりやすく講義下さいました。

漠然としか分かっていなかった事が、少し掘り下げて理解できたと思います。

現在は直接には関わっていませんが、同じ施設内でいつか関わる時に必要な知識だと思いました。

後半は「皮膚トラブル」について、床ずれの原因にもいろんな要因がある。理解し介護に当たっていると思っていましたが、目から鱗の内容だったり、また「うんうん」と頷き納得する内容など大変勉強になりました。

我々介護職では解らなかった事、解っているつもりだったことを専門の立場で教えて頂き、改めて見直すことが出来ました。

介護職による医療的行為が業務に入り、うろたえる事無く行えるようにしっかりと身に付けて行きたいと思います。

（報告：山本 信子）

医療シリーズ④

平成23年10月19日（水）みつ訪問看護ステーション 看護協会 江田純子氏をお迎えして「医療と介護の連携～共通の情報伝達の方法～」をテーマとし56名の方が参加しました。

日常生活に制限や障害がある人の援助には、介護と看護が協働し、それぞれが責任を持つこと。その人が、その人らしく暮らすためには、なぜその援助をするのかの根拠をはっきりさせることが大切である。また、あるべき姿と現状のギャップはあるが、目的を達成するためには、信頼関係を築くと共に問題解決のプロセスを考える事が大切である。

介護職の業務は、生活過程を考える・生活援助・身体介護であり、看護職の業務は、療養生活の援助・診療の補助である。人の健康状態の観察では、目に見える身体と目に見えない心を持つ。人の健康は、バランスを崩しやすいため、身体状況や環境面も関連させて考えることが必要である。介護、看護が得た情報を共通理解し、連携が取れる、言い合える関係づくりが大切である。

この講義を聞いて、一人の人を支えるためには良い人間関係を築きたいと思った。

（報告：柚木 真理）



中 堅 職 員 研 修 会

リーダーや指導者に必要なケア技術

～ケアを業務（流れ作業）にさせない
「気づき」「プロ意識」をはぐくむ～

介護老人保健施設 鶴舞乃城
看介護部長 高口 光子 氏



1月15日（日）さん太ホールにて中堅職員研修会が開催され約300名の参加がありました。

リーダーに求められるケアの質と技術、目指すケアとは何かについて講義があり、その中で、その人らしい生活とは「あたりまえの生活」を基礎として「習慣・こだわり」を大切に表現した状態で、老いて病んでただ死んで行く人の価値は出会った人で決まる。外に質問を向ける事も必要だが自分自身への問いがもてるかどうか。等々。

具体的でわかりやすい内容で、時に笑いと涙を誘い、時の経つのも忘れていました。

高口先生の福祉にかける情熱とエネルギーに勇気と元気をもらいました。

(報告：中濱 匡美)





平成 23 年度（第 9 回）社団法人岡山県介護福祉士会

介護実践研究発表会

私たちの仕事の日々の実践を形として残し、発表する場としてあるのが介護実践研究発表会です。

平成23年12月18日（日）川崎医療短期大学にて行われました。

午前中 4 題、午後より 2 題の発表とパネルディスカッションが行われました。



特別賞：中上裕子 優秀賞：原淳一郎

優秀賞の感想

今回の介護実践研究発表に参加しての率直な感想は、他の病院や施設の取り組みや、日々の業務などを知ることができ、私の所属する病院でも日々業務の見直しを行っており、今後の業務改善の為の大きな参考になりました。また、今回の研修発表で私の所属するリハビリ病棟が行っている「生活延長企画」という取り組みについて発表する機会をもて、多くの皆様に知って頂いた事が今回の研究発表の最大の喜びです。

そして、数ある素晴らしい発表の中から、私の発表に賞を頂いた事が大変光栄であるとともに、今後、助言者の諸先生方から頂いたお言葉を忘れることなく、「生活延長企画」を更に昇華し、病院においての介護福祉士の役割を果たしていきたいと思っています。

健寿協同病院 介護福祉士 原 淳一郎

特別賞の感想

災害ボランティア活動を推進・協力してくださった藤田荘施設長、デイサービス職員の皆様、そして事例発表の機会を与えてくださった介護福祉士会の皆様に厚く御礼申し上げます。災害という非常事態の中で人権について考えさせられ、来春の介護保険改正のテーマである医療連携を身をもって体験させて頂きました。沢山の方々とこの絆を感じた貴重な体験を発表できたことを大変光栄に思います。

藤田荘認知症対応型通所介護事業所

中上 裕子

今まで私は実践

研究に携わったことがなく、病院へ勤務し始めて間もないのですがたくさんの先輩・上司の方々のサポートもあり、無事発表を終えることが出来ました。

「転ばない体づくり」ということで、毎日体操やお手玉作りに協力して下さった患者様の一生けん命な姿に、私も頑張ろう！と力をもらう事も多くありました。発表当日は緊張しきってしまい、お聞き苦しかったかと思いますが、最後まで聞いて下さった皆様にも感謝です。

今回の研究発表を通し、介護福祉士として、自分にどのような働きが出来るのか、考える良い機会になったのではないかと感じています。

岡山協立病院 山根 志穂

今回、初めて院外での

発表をさせていただきました。私たちは一般病棟でスケジュール表の可視化をテーマに介護スタッフの意識統一を図り、業務の段取り力の向上に取り組みしました。他の介護実践研究での色々な取り組みを拝聴し、介護職間や他職種との「連携」の重要性を強く感じました。他職種との連携と意識統一により、より良い環境作りに取り組んでいきたいと思っています。

社団法人創和会 しげい病院 渡辺美佐子



【発表者・テーマ】

No	発表者	テーマ	所属名
1	難波めぐみ	快適な入院生活を提供するために ～5S活動への取り組み～	湯原温泉病院
2	渡辺美佐子	業務配分の可視化による効果 ～スケジュール表導入による介護福祉士の意識統一を目指して～	医療法人創和会 しげい病院
3	中上 裕子	災害ボランティア活動報告 ～環境因子が非常事態の時、介護福祉士にできること～	藤田荘認知症対応型 通所介護事業所
4	小野 弘美	転ばないからだづくり ～自宅退院に向けて自分で出来るリハビリを～	岡山協立病院
5	西村よし子	腸ろう造設・寝たきり状態になったAさんの食べたいという要求に 応えて老人車で買い物ツアーに参加し、握り寿司を食べたAさん	健寿協同病院
6	原 淳一郎	生活延長企画 ～介護福祉士による入院生活改善の取り組み～	健寿協同病院

【助言者より】

働く介護福祉士がどのように関わって、結果を出してきたかの発表の場である。今回は、病院に勤めている介護福祉士の発表が多かった。医師、看護師の歴史は百年以上あるが、介護福祉士は、まだ20年である。カンファレンスの中で、利用者の代弁ができる、根拠に基づいた意見が言えるようにならなければならない。医療の中での介護福祉士は苦労があるが頑張ってもらいたい。

また、いいケアをやっても、社会が認めないと業務独占にはならない。事例研究を社会に見せること。論文で社会にアピールすることが大切である。認定介護福祉士（仮称）など、上を目指して頑張ろう。

介護福祉士として、病院でも専門職として頑張っている様子を聞いて、嬉しく思った。介護福祉士が社会に認められ業務独占するためにも、今、職場で介護福祉士として頑張っている方の発表をお願いしたい。



パネルディスカッション



【テーマ】 『実習生を受け入れる体制』

～実習指導者特別研修を終えて～

【コーディネーター】 川崎医療短期大学 介護福祉科 教授 岡 京子 氏

【パネリスト】 特別養護老人ホームのぞみ荘 育成推進課長 赤松 充 氏
介護老人保健施設 瀬戸いこい苑 副科長 樽元 五月 氏
介護老人保健施設 ケアガーデン津山 介護士長 花谷 久美 氏

参加者からの感想

実習指導に関わる立場の私にとり、他の職場の受け入れ体制を知ることは、とても勉強になりました。指導者が専従や現場との兼務の違いはありましたが、各施設での育成（指導）システムが確立されており、全職員へ周知徹底されていました。それにより全職員で実習生の指導が出来、他職種との連携にもつながり、指導の量的充実が図れていると感じました。指導者以外の職員も関わることで自己研鑽にもなっています。県内でこの4年間408名が、実習指導者特別研修を修了しています。各自が研修で得たものを少しでも業務へ反映し実践することが、介護福祉士倫理綱領にある「後継者の育成」となると考えます。今後も、養成校との連携を大切にしながら未来の介護福祉士を育成するという重要な役割を担っていると再認識し、実習指導にあたりたいと思います。

（美作地区 山本まき恵）



初任者研修



●真庭地区【カテゴリー：倫理・人権領域】

平成23年11月17日（木）、特別養護老人ホーム檜山荘に於いて、初任者研修会が開催されました。新見公立短期大学・池田明子先生より「介護福祉士に求められる職業倫理」と題してご講演頂きました。

会員・非会員と合わせて41名の参加がありました。

医師・看護師・介護福祉士などは職能団体として職業倫理を述べた文書を持っています。利用者の生活を支援していくには社会的役割と責任が問われ、信頼関係を築いていくにはどうしていけば良いかを、日本介護福祉士会の倫理綱領も紹介して頂きつつ、具体例を上げながら教えて頂きました。

約1時間熱のこもった講演を聞かせて頂き、今一度基本に返ってご利用者さまと向き合っていこうと決意しました。

（報告：山根 寿子）



●東備地区【カテゴリー：介護技術領域】

平成23年10月25日（火）、特別養護老人ホーム長船荘にて講師に障害者支援施設竜ノ口寮の斎藤七七重氏（岡山県介護福祉士会介護技術指導委員会委員長）をお迎えし介護技術の研修が行われました。

会員・非会員を合わせて25名の参加がありました。

座学では「介護福祉士の専門性」・「介護福祉士のための介護技術」といった介護福祉士としての役割・位置付け・視点・目標について学び、演習ではベッ

ド上での移動・立ち上がり・車椅子への移乗などの動きを1つひとつ基本を押さえながら行いました。

『主体はあくまで利用者である』と講師は強調されました。経験年数が長かったり、慣れてしまうと、基本をおろそかにして介護者本位の介護になっていないだろうか。

参加者一同、初心に戻る事が出来た研修でした。

（報告：頓宮 美樹）



平成24年度社団法人岡山県介護福祉士会

継続会員会費納入のお手続きはお済でしょうか？

平成24年度会員登録の為、今年度もお手続きをお願いいたします。

過日、送付いたしました、ゆうちょ銀行の自動払込のお手続きをされていない振込用紙にて3月末日までにお振込み下さい。

また、振込につきましては事務処理上、会員お一人様一枚(ご自分の)振込用紙をご利用下さい。

ご入金確認後、平成24年度の会員登録をさせていただきます。

【納入方法】

自動払込

平成24年1月31日にて受付終了

※ご希望の方は来年度お手続き下さい

又は

振込み

平成24年3月末までに振込み



..... 平成24年度社団法人岡山県介護福祉士会 新規入会のご案内

■会員

本会の目的・趣旨に賛同する県内の介護福祉士の有資格者は、入会できます。

社団法人岡山県介護福祉士会と日本介護福祉士会への同時加入となります。

■入会金

		1. 新規会員	2. 学卒新規会員 (平成24年3月養成校卒業見込み)
岡山県介護福祉士会	年会費	6,000円	6,000円
日本介護福祉士会	入会金	5,000円	0円 (免除)
日本介護福祉士会	年会費	3,000円	3,000円
計		14,000円	9,000円

■入会方法

入会申込書(会員台帳)に必要記載事項を記入し、郵便振込用紙にて入会金・年会費をお振込の上、入会申込書裏へ受領書コピーを貼り、下記事務局へ送付下さい。

追って、会員証・生涯研修手帳を送付いたします。

入会申込書につきましては下記事務局までお問合せ下さい。

※自動払込のお手続きは2年目以降になります。

■お問合せ先

社団法人岡山県介護福祉士会

〒700-0813

岡山市北区石関町 2-1 岡山県総合福祉会館 5 階

T E L (086)222-3125 F A X (086)222-6780

会員加入は義務ではなくて、私達の権利です

社団法人岡山県介護福祉士会では、随時新規会員を募集しております。

私たちと一緒に介護福祉のプロ集団を目指しませんか!?仲間と一緒に自分を磨こう!

会員の皆様は、お知り合いの方に是非ともご紹介下さい。

社団法人岡山県介護福祉士会 通常総会並びに一般公開講座

日 時：平成24年3月17日(土)
13：00～15：30（受付 12：30～）
会 場：岡山県総合福祉会館 4階 大研修室
日 程：通 常 総 会 13：00～13：55
一般公開講座 14：00～15：30
参 加 料：無料

一般公開講座：【テーマ】『健口力アップで、充実人生』
～食べる楽しみいつまでも～
【講 師】 社団法人岡山県歯科衛生士会
会 長 武田 明美 氏



3月の通常総会の議案決議には
総会員数の3分の2以上（委任状を含む）の
承認が必要となりますので、欠席される方は、
必ず、総会案内の往復ハガキの返信部分「委任状」に
ご記名・捺印の上、ご返送くださいますようお願い申し上げます。

日 時：平成24年5月18日(金)
13：00～15：30（受付 12：30～）
会 場：岡山県総合福祉会館 4階 大研修室
日 程：通 常 総 会 13：00～13：55
一般公開講座 14：00～15：30
参 加 料：無料

一般公開講座：【テーマ】『医療的ケアの動向について』
～介護職員等による たんの吸引の研修について～
【講 師】 中国短期大学
川上 道子 氏

平成23年度賛助会員の皆様

医療法人福嶋医院	三宅 道子
(株)キャリアプランニング	(株)QOLサービス
丸大食品(株)	(株)パソナ
西尾総合印刷(株)	(株)大塚製薬工場
東洋羽毛中四国販売(株)	(株)シーズ
日本福祉大学 中国・四国地域ブロックセンター岡山	友野印刷(株)
特別養護老人ホーム愛光苑	朝日医療学園
ダイヤ工業(株)	日総研グループ
(株)誠屋	岡山医療福祉専門学校
(株)ほそだ	玉野総合医療専門学校
エスペランスわけ	中国短期大学
専門学校福嶋リハビリテーション学院	美作大学短期大学部

ご支援ありがとうございます

平成24年度岡山県介護福祉士会 賛助会員募集

当会の趣旨、目的に賛同頂ける岡山県介護福祉士会賛助会員を募集しております。
詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。
資料を送付させていただきます。
TEL：086-222-3125 岡山県介護福祉士会事務局

岡山の介護福祉士登録者数：18,743名（平成23年12月現在）

岡山県介護福祉士会会員数： 1,089名（平成23年12月現在）

組織率5.8% 目指そう組織率7.0%！

私たちは『介護福祉士』の職能団体です。

「介護福祉士」の国家資格は生まれてから日が浅く、介護業務も独占できない状況で介護福祉士として活動されておられます会員の皆様には肩身の狭い思いをする場もあるのではないかと推察いたします。厚生労働省の委員派遣も数名にとどまっており、介護福祉士自身が介護福祉士の事を決められない現状がございます。

日本介護福祉士会・岡山県介護福祉士会は介護の職能団体として誰もが介護の事は介護福祉士会に任せようと認識し、日本の介護の方向性にも影響を持てる団体として会員皆様、そして会員でない介護福祉士の方一人一人ご理解、ご協力を頂き、更に今後成長していきたいと存じます。

平成24年度 ファーストステップ研修会 開催のお知らせ

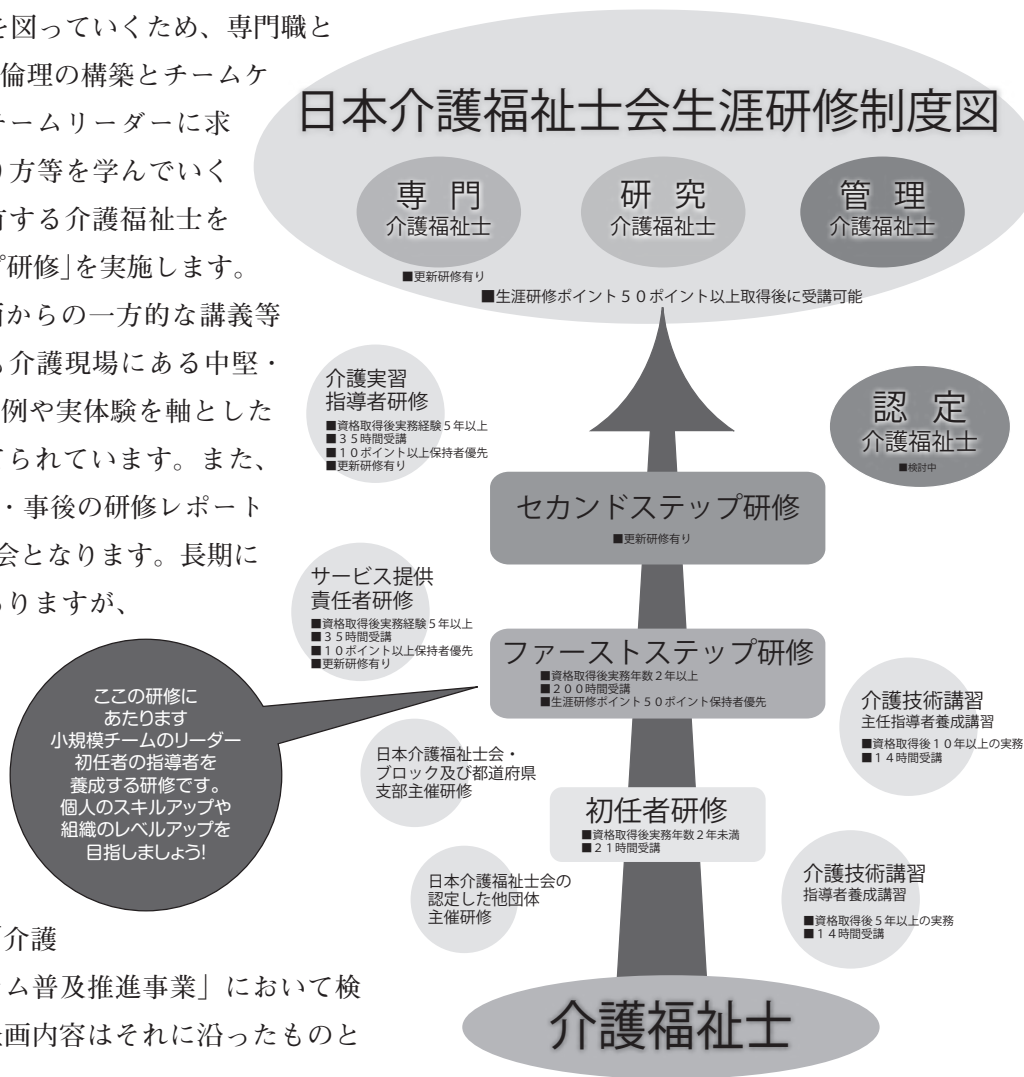
1. 趣 旨

「尊厳を支えるケア」の実践を図っていくため、専門職としての介護福祉士に必要な職業倫理の構築とチームケアの発想や展開、さらには小チームリーダーに求められるリーダーシップのあり方等を学んでいくことを目的に、一定の経験を有する介護福祉士を対象とした「ファーストステップ研修」を実施します。

本研修会においては、知識面からの一方的な講義等といった進め方を避け、自らも介護現場にある中堅・ベテランの介護福祉士による事例や実体験を軸とした演習中心のものとして組み立てられています。また、研修を進めていく中では、事前・事後の研修レポートも求められるなど参加型の研修会となります。長期にわたるハードな研修内容ではありますが、確実に自分自身の力を高めるものとなるでしょう。奮っての参加を期待します。

なお、本研修会は全国社会福祉協議会中央福祉人材センターが厚生労働省老人保健健康増進等事業として実施した「介護職員のキャリア開発支援システム普及推進事業」において検討されたものであり、研修の企画内容はそれに沿ったものとなっています。

日本介護福祉士会生涯研修制度図



- | | |
|------------|---|
| 2. 主 催 | 社団法人 日本介護福祉士会・社団法人 岡山県介護福祉士会 |
| 3. 会 場 | 岡山県総合福祉会館 4 階 大研修室 |
| 4. 対 象 者 | 原則として資格取得後 3 年から 10 年までの介護実務に従事する介護福祉士その他介護実務に従事する者 |
| 5. 定 員 | 40 名 |
| 6. 研 修 期 間 | 下記日程表参照※ 1 日だけの受講等はありません。
平成 24 年 6 月～平成 24 年 12 月 (全 13 日間) |
| 7. 研修受講料 | 岡山県介護福祉士会 会 員 7 万円
一 般 8 万円 |
| 8. 研 修 内 容 | 右記日程表参照※ 開催時間は各講義日 9 : 30～17 : 00 (予定) |

平成24年度 ファーストステップ研修会 プログラム

ケア領域					
第1日目	平成24年6月4日	月	利用者の全人性、尊厳の実践的理解と展開	上原千寿子	尾道福祉専門学校 校長
第2日目	平成24年6月21日	木	介護職の倫理の実践的理解と展開	森 繁樹	特別養護老人ホーム旭川敬老園 園長
第3日目	平成24年7月4日	水	コミュニケーション技術の応用的な展開	宮本 憲男	きのこ老人保健施設 グループホーム統括責任者 笠岡市認知症介護研修センター 主任研修主幹
				畑本 英子	新見市社会福祉協議会 介護保険課係長
第4日目	平成24年7月19日	木	ケア場面での気づきと助言	松島智枝美	特別養護老人ホーム旭川敬老園 介護主幹
第5日目	平成24年8月1日	水		中川 明美	障害者支援施設 竜ノ口寮 介護福祉主幹
				齋藤七七重	障害者支援施設 竜ノ口寮 介護福祉主幹
連携領域					
第6日目	平成24年8月16日	木	職種間連携の実践的展開	三宅 道子	社会福祉法人薫風会 くらしき総合福祉専門学校 校長
				藤田 信子	奥津広済園 相談員・介護支援専門員
				西谷富海子	特別養護老人ホームみゆき園 介護長
第7日目	平成24年9月5日	水	家族や地域の支援力の活用と強化	矢庭さゆり	新見公立短期大学 地域看護学専攻科 講師
				三村ゆかり	旭川敬老園 介護支援主幹
第8日目	平成24年9月20日	木	観察・記録の的確性とチームケアへの展開	石井 貞江	重症心身障害児施設 旭川児童院 支援課長
				藤原美恵子	旭川荘厚生専門学院 教務主任
				安達 悦子	介護付有料老人ホーム 結びの杜ホーム 所長
運営管理基礎領域					
第9日目	平成24年10月3日	水	セーフティマネジメント	神寶 誠子	川崎祐宣記念総合在宅支援センター 顧問
				義村 冷子	重症心身障害児施設 旭川児童院 副院長
				土屋 教子	川崎祐宣記念総合在宅支援センター 介護支援専門員
第10日目	平成24年10月18日	木	チームのまとめ役としてのリーダーシップ	森 繁樹	特別養護老人ホーム旭川敬老園 園長
				山縣 香織	岡山赤十字老人保健施設 玉野マリンホーム 介護福祉士
				山口 浩子	介護老人保健施設 藤崎苑 介護福祉士
第11日目	平成24年11月14日	水	問題解決のための思考法	池田 明子	新見公立短期大学 地域福祉学科 講師
				宮崎 祐子	居宅介護支援事業所「結びの杜」 介護支援主幹
				大森 玉恵	老人保健施設 エスペランスわけ 介護主任
第12日目	平成24年11月29日	木	介護職の健康・ストレスの管理	谷口 敏代	岡山県立大学 保健福祉学部 保健福祉学科 教授
第13日目	平成24年12月19日	水	自職場の分析	森 繁樹	特別養護老人ホーム 旭川敬老園 園長
				湯川美帆子	居宅介護支援事業所イーエスサウスヒルズ 介護支援専門員
				上所 英司	岡山赤十字老人保健施設 玉野マリンホーム 介護主任
				甲加 勇樹	老人保健施設 エスペランスわけ 介護支援専門員

開催要綱が出来次第、会員様へはご送付いたします。
一般の方で参加を希望される場合、本会ホームページよりダウンロードするか事務局までお問合せ下さい。

みんなの広場

ほっとステーション



お世話になった介護福祉士さんに、“ありがとう”の気持ちを伝えたいと津山市の長滝誠一様より自作の歌を送って頂きました。81才の長滝様が電話先で歌って下さった歌声は、とても元気で、皆様にお届けできないのが残念です。



介護士さんよありがとう
作詞、作曲 長滝 誠一

一 昇る朝日を
今日も出て行く
待つ人達へ
ささげて祈る
空にトンビが
オハヨーさんと
突如とび来る
いかる大声
なだめすかして
次の部屋へと
みんな集まり
歌をうたつて
遠い昔しを
まぶたに光る
介護士さんも
寝床に休む
我が母親と
病んだ体と
背中をさすり
窓辺にのこる

二 背に受けて
介護士さんは
愛の手を
しあわせを
和えがく
声かけりや
下着やメガネ
笑い声
かたずけて
身をうつす
輪になって
手おどりすれば
思い出し
玉のつゆ
もらい泣き
おばあちゃん
思いをかけて
話しかけ
肩もめば
宵の月

三 三
四 四

新会員さんに聞いてみました

- Q1. 資格取得は？
Q2. 本会の入会は？
Q3. 介護の仕事に携わったきっかけは？
Q4. 本会へ入会したきっかけは？
Q5. 入会してからの感想は？



- A1. 平成 20 年
A2. 平成 23 年
A3. 祖父の介護を手伝う中で。
A4. 施設からすすめてもらって。
A5. 研修先などで志の高い人達に出会えて勉強になった。
他の施設の方の話など刺激になる。
(ひだまり苑：U)

- A1. 平成 23 年
A2. 平成 23 年
A3. ボランティア活動をしていて。
A4. 施設からのすすめで。
A5. 様々な内容の研修があり、参加しやすくして良い。
(ひだまり苑：K)

- A1. 平成 16 年
A2. 平成 23 年
A3. 高校卒業後、製造業に携わっていたが、『人と関わる仕事がしたい』と思っていた時、友人より『介護の仕事』の誘いがあった。
老人ホームに対して初めは良い印象がなかったが、施設で働くスタッフの表情がとても明るく、利用者の方も笑顔で過ごされていて『ここで働きたい』と思うようになったから。
A4. 日進月歩の介護において、自己学習に留まることなく外部研修や他施設との交流を深め、自身のスキルアップと認知症介護全体の質の向上を目的とし、入会した。
A5. 入会して 1 年弱、何度か研修会に参加したが、参加されている方達は志の高い方がとても多く、よい刺激になった。
まだまだ学ばなければならないことが沢山あると思った。
(さくばらホーム：木口 毅)

特別養護老人ホームに勤めはじめて約 3 年目になります。私は身体が 147cm と小さく、身体的ハンデがあり、悩むことも沢山ありましたが、それを乗り越えながら日々の業務に取り組み努力しています。

介護をしていて嬉しく思うことは、利用者と毎日変わらない笑顔で挨拶をかわすことです。人間対人間なのでぶつかり合うこともあり、辛いこともあります。家族以上に一緒に時間を過ごし、必要とし、頼りにして下さる方々の為に頑張っています。

私は「小さい人は介護が出来ない」と思われたくありません。誰にでも介護は出来ます。その為にも、これからも知識や技術面の向上を目指し、人間的な成長をしていきたいと思っています。

利用者の最期の場合。「介護する」ではなく「介護させていただく」という気持ちを忘れず、利用者一人一人に関われることを感謝し、一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

岡山地区：重信 早希

編集担当

岡山県介護福祉士会
広報委員会

安達 悦子	土屋 教子
戸澤奈津子	荻野 明弘
小林 貴子	頓宮 美樹
中井 愛	小田上美保子
中濱 匡美	山根 寿子